

# グルーピング

千代中 重枝

- 単純に教師が見せた、指の本数でしゃべらないで集まる  
(数回繰り返す、入れなかった人への考え方・・・「一人は入れなくて困っている人  
あなたは どうする?」「自分たちは早くグループができたけどそれでいいのか?」「こ  
れが自分のクラスだったら何を伝えたい?」「手招きして呼んでいる人、手をつか  
んで連れて行く人・・・その行動の評価、またはされた人の気持ちなどの感情交流(エン  
カウンター)」)
- ゲーム形式でコミュニケーションをとって集まる(血液型、生まれた月)
- 判断が必要で自己開示度が高いやり方(「夏と冬」「犬と猫」「卵焼きと目玉焼き」  
3つの意見が一致する人を見つけ○人組になる)
- ※ 少し様子を見て、実態を評価したり、親和的ムードをつくったりして、最終的に  
グループに分けていくと、アイスブレイクとゾーンに入る状態がつかれる。
- ※ グルーピングを数回行いながら、簡単なエクササイズを入れるとよい。  
  
【エクササイズ例】  
・握手で自己紹介 ・トラスタップ、フォール ・人間知恵の輪  
・タイタニック ・ジャンプ ・肩もみ など
- ※ グルーピングのあと、整列・号令などの指導をするのもいい。